

EVENTS

KWANSEI GAKUIN SENIOR HIGH SCHOOL

オープンハイスクール

要予約

日程によって実施内容は異なります。詳細はホームページ「2023年度入試特設サイト」へ
オープンハイスクール参加者へは入試要項・昨年度の入試問題を配布します。

2022年 7/16(土)・9/24(土)・10/22(土)・11/12(土)

8/27(土) クラブ体験会

申込み方法(※要事前申込み)

<https://hs.kwansei.ac.jp/>

本校ホームページから「2023年度入試特設サイト」へアクセスして申込み

関西学院高等部

検索



※順次、本校入試特設サイトに申込み受付を開始します。※今後の状況に応じて開催を延期・中止させていただく場合があります。最新の情報を本校ホームページにてご確認ください。
※ご来校の際には公共交通機関をご利用ください。

ACCESS

[大阪・神戸から最寄り駅まで]

▶大阪より

阪急電鉄 大阪梅田 15分 神戸線 西宮北口 5分 今津線 甲東園

JR 大阪 12分 神戸線 西宮 (快速停車)

▶神戸より

阪急電鉄 神戸三宮 15分 神戸線 西宮北口 5分 今津線 甲東園

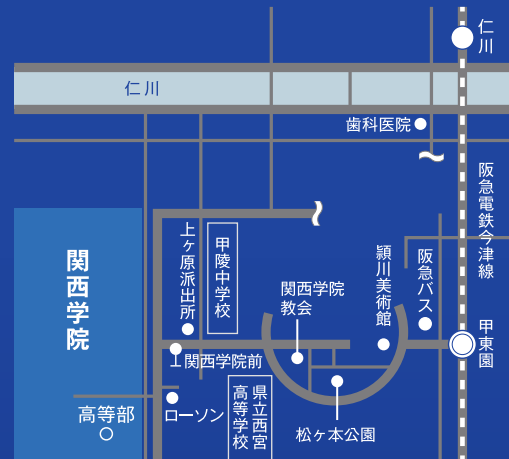
JR 三ノ宮 14分 神戸線 西宮 (快速停車)

[最寄駅からの所要時間]

阪急電鉄 甲東園 バス5分 徒歩15分 関西学院前

阪急電鉄 仁川 徒歩15分

JR 西宮 バス15分 関西学院前



KWANSEI GAKUIN SENIOR HIGH SCHOOL

"Mastery for Service"

感謝・祈り・練達



関西学院高等部
KWANSEI GAKUIN SENIOR HIGH SCHOOL

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
TEL: 0798-51-0975 FAX: 0798-51-0973



〈公式ホームページ〉



〈公式Instagram〉



学校案内 2023
関西学院高等部

<https://www.kwansei.ac.jp/hs>

Mastery for Service

“奉仕のための練達”

1889年、創立者ランバス宣教師により、わずか教員5名・生徒19名で産声をあげた本学院。

ランバスが貫いた「真の世界市民として世界万民のために献身する」生き方は、第4代院長 ベーツにより、スクールモットー“Mastery for Service（奉仕のための練達）”として明文化され、国際性、自由と自治の精神、そして本学院で学ぶ意義の礎となり、約130年の時を経て総合学園となった今も、揺らぐことのない魂として、教職員・生徒たちの中に流れ続けています。



「自由と自治」は自律から

生徒たちが自律する意識を高め合い、築き上げてきた、「自由と自治」の校風。

「人間とは」「生きるとは」を、キリスト教を通して問い続け、考え続ける礼拝。文系・理系にとらわれない多彩なカリキュラムから、自由に探究できる学びの環境。

生徒たちは、自身の興味関心を探究する中で、心身ともに、日々力強く成長を続けています。





What do you learn?



Learn about life.

生きることを学ぶ
～未来に続く関西学院高等部の学び～

関西学院高等部

社会に貢献するために未来を見据え、自らを磨く高等部の学び

条件を満たせば全ての生徒が
関西学院大学に進学できます
詳細は P.27 へ

関西学院大学

高等部で追究した興味・関心の専門性を深める

社会

多彩な学びを通して身につけた力は社会で大きく花開く

- 主体性
- 責任ある行動をとる力
- 情熱
- 学び続ける力



世界にひろげる学び



- 課題発見力
- 論理的思考力
- 新たな価値を創造する力

キリスト教主義
教育

未来へと
つなげる学び

知見を
深める学び

自主性を育む学び



- 多様性への理解
- 粘り強さ
- 対立を克服する力
- 柔軟性

「社会に貢献するための3つの力」を磨き、どう生きるかを考える

関西学院高等部では、キリスト教の精神を持ちながら、幅広い学びを通じて自身の興味関心を知り、探究心を育みます。そして多岐にわたる取り組みの中で「生きること」を考えます。これらの学びは、現代社会で必要とされる3つの力、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで動く力」を包括的に磨き、すべての人々に貢献する世界市民となるべく、今を生きる力を養います。「私はここで何を学ぶのか」、それぞれの学びに目的を持つことが関西学院高等部の学びの第一歩です。



高大連携により多彩な学びを実現

【具体的な取り組み】

- ・キリスト教行事や多くの選択科目を大学の教授・講師が担当
- ・高大連携科目では実際に大学の授業に参加し単位取得が可能
- ・多くのクラブ活動で、大学生がコーチとしてサポート

14の多彩な学部が学びをサポート

神学部	文学部	社会学部
法学部	経済学部	商学部
人間福祉学部	詳細は P.28 へ	国際学部
教育学部	総合政策学部	理学部
工学部	生命環境学部	建築学部



世界で活躍する卒業生のインタビューは P.21 へ

キリスト教主義教育

聖書「を」学ぶではなく、聖書「で」学ぶ。
人権とは、生きるとは何か、
そこにどう向き合うのか。
「なぜ」を通じ、心を磨くキリスト教主義教育
により、自らを鍛えて、隣人・社会・世界に
奉仕する人間となることを目指します。

「共に生きる」ことを学ぶ授業や行事を通して、奉仕の実践に努める



礼拝

週に2回、キリスト教を土台とした講話を通じ、静かに自分を見つめる時間です。異文化理解、多様な価値観の共有、現代社会でも課題として挙げられるこうした問題に、あなたならどう向き合うか、どう生きたいか。そして、どんな自分でありたいかを自身に問いかけ、考えを深めます。



「聖書科」の授業

なぜ私たちは生まれたのか。なぜ世界は問題に満ちているのか。聖書を題材にしながそんな正解なき問いを深め、考える力を養います。この学びは人としての生き方や他人と協調する心、主体的かつ論理的に問題解決を図る思考力を育み、「生きる力」の源泉ともなる大切な学びです。



宗教週間の特別礼拝(宗教運動)

牧師による聖書のメッセージや、クリスチャンワーカー(キリスト教の立場で社会のために奉仕されている方)による福祉、教育、国際協力などについてのメッセージを聞きます。近年は、写真家でノンフィクション作家の桃井和馬氏、救世軍プロジェクトの秋元義彦氏などに来ていただきました。



キリスト教音楽コンサート

日本で、世界で活躍されているクリスチャンシンガーの方をお招きして、キリスト教音楽コンサートを行います。音響機材を入れて、チャペルを本格的なコンサート会場にします。近年は、レーナマリア、井草聖二、サルーキー、MIGIWA、ナイトdeライトといった方々に来ていただきました。

▶ Key Point

人権教育



キリスト教主義教育を掲げる本校では、かねてより人権教育を重んじてきました。スクールモットーである“Mastery for Service”の体现を目的とし、自らを鍛えて、隣人・社会・世界に奉仕する人間となることを目指します。

人権プログラム

身近な生活の中の人権侵害や多様性(障がいやジェンダー・セクシャリティ)、社会的不公平(差別・格差)などをテーマに、学年ごとに様々な人権プログラムを実施しています。教科教育やホームルーム活動とも連携し、自分と異なる他者を受け入れる柔軟で幅広い人間観を身につけると共に、「苦難の中に置かれた人々」への共感的視点を養います。当事者の方のお話を伺ったり、仲間と共に意見を分かち合う中で、「世界市民」に成長する土台を築きます。



知見を深める学び

自主的な学びによって
興味関心を探究心へと進化させる。
基礎を固め、文理を融合した多様な領域
に触れる環境だからこそ本当に学びたい
ことに出会えます。

主体的に学ぶ経験を積み、探究心を育む

▶ Key Point カリキュラムの特徴

文系・理系にとらわれず多様な知識に触れ、基礎力や教養を高めていく過程で、おのずと学び方がわかります。それは、様々な学問領域を自由に、自主的に学ぶ意欲へとつながります。関西学院高等部では、全ての生徒が大学受験に縛られず、自分自身の興味関心に基づく学びを深めることができます。



1年	2年	3年
気づく	ひろげる	つなげる
社会を知る・社会の中の自己を知る	関心のある課題に深く取り組む ※原則、希望により文理を選択します	興味関心をまとめ 大学での学びにつなげる

文理の隔たりがない学びを通じ、知見をひろげながら大学に通じる基礎学力を身につけます。また、すべての科目で「探究」を意識し、教科書に記されている事象にも様々な見方や考え方があることを学びます。生徒たちは多様な考え方に触れ、その上で「自分はどう思うのか」を考えることで、自らの興味関心の発見につなげていきます。

3年生になると、見つけた自分の興味を充実した選択科目の中で深めて学んでいきます。選択科目では大学の先生をはじめ、多くの外部講師の方々から教わり、専門的な意見や知識を得ることで、自らの考えを多角的にとらえていきます。そして、「本当に学びたいこと」を見つけ、大学での学びにつなげていきます。

3年生の選択科目では、教科の学びをさらに深める講座、スポーツ・芸術分野の実技科目、多様な言語や関西学院大学各学部の入門編など、多彩で専門的な講座が開講されています。人間形成や進路選択にとって大切な時期に、教養や人間性の幅を広げられる豊かな学びに出会えます。



美術実習(油絵／陶芸)

芸術科目のひとつとして油絵や陶芸を体験できる美術実習の時間を設け、作品づくりを通して、豊かな感性と思考力を育んでいます。試行錯誤しながら、自分の手で作品を完成させた時の喜びや達成感、新たな意欲にもつながります。



関西学院大学での「高大連携プログラム」

「AI活用入門」(共通教育センター)や「行動科学入門」、「哲学入門」、「美学芸術学入門」(文学部)、「ケア社会学」(社会学部)など、大学の学部で開講されている実際の授業を受講し、大学の単位として修得することができます。(写真は法学部「日本国憲法」を高等部生が受講している様子です。)

選択科目一例(2022年度)

〈研究科目系〉

- 文学講読
- 微積分学
- 総合数学
- 倫理研究
- 心理学
- ビジネス会計セミナー
- プログラミング講座
- 命を考える
- ジェンダー・セクシュアリティを考える

〈実技系〉

- 美術実習(油絵／陶芸)
- 音楽演習(声楽／器楽)
- 書道
- 体育実技(ゴルフ／テニス／トレーニング／生涯スポーツ／ダンス／ヨガ／グローバルスポーツ／柔道)
- 発達と保育
- 食文化
- 日本文化
- 写真演習
- アート探究
- 舞台表現(演劇)

〈語学系〉

- 時事英語
- ハイレベル英語講座
- Writing & Speaking
- ドイツ語
- フランス語
- 中国語
- 韓国・朝鮮語
- 日本手話

〈大学入門講座系〉

- 商学・経済学入門
- 法学・社会学入門
- 人間福祉学・教育学入門
- 国際学・総合政策学入門
- 理工学入門

〈グローバル探究系〉

- AI活用・アドバンスド
- ピーススタディ・アドバンスド
- グローバルスタディ・アドバンスド

〈学際講座系〉

- アントレプレナーシップ講座
- 関西学院学

<2022年度入学生カリキュラム>

教科		国語	地歴	公民	数学	理科				体育		芸術		家庭	情報	英語	総合的な探究	聖書	選択		ホームルーム	計
科目						地学	化学	物理	生物	体育	保健	音楽	美術				読書		必修選択	選択		
1年		4		2	5		2		2	2	1	2			2	6	1	1			1	31
2年	文系(A～G組)	4	4		3	2				2	1		2	2		6	1	1	2		1	31
	理系(H,I組)	2	2		5		4	2		2	1			2		6	1	1	2		1	31
3年	文系	A～G組	3	○4	○4	3		2		3						5	1	1		8	1	31
		H,I組	2	2	2	4	2			3						5	1	1		8	1	31
	理系(H,I組)	2	2		6	2		☆4	☆4	3						5	1	1		4	1	31

※理科は科目名ではなく分野名。※2年生理系コースは3年進級時に文系か理系かを再度選択します。※カリキュラムは変更となる場合があります。

○は計4科目から1つ選択、☆はいずれか選択

世界にひろげる学び

探究心を刺激する実践的カリキュラムで、世界にはばたく力を手に入れる。
未来を見据えた様々なプログラムに取り組み、未知の自分にチャレンジします。そして、社会に貢献し、人々に奉仕できる世界市民を目指します。

身近な社会の課題から世界へ、持続可能な未来の創り手をめざす

▶ Key Point 世界市民となるための学び

高等部では世界とつながる様々な学びの場があります。プラクティカルイングリッシュや語学留学を通して英語力を高める場から始まり、海外の提携校と身近な社会問題について取り組むグローバルスタディ、その集大成としての国際会議など、世界市民となるための学びを提供しています。



< グローバル探究A > グローバルスタディ

(2、3年生選択授業)

外国の高校生と共に身近な社会問題の解決に取り組むプロジェクト型授業です。3年生では、毎週の授業中にインドネシアの提携校とオンラインでディスカッションを行い、互いの国が抱える社会問題について英語で話し合います。単なる英会話の練習ではなく問題を感じとり、分析、議論し、解決策を企画、実行する中で、多様な価値観を越えての協働と探究の学び、そして実践的スキルを深めます。プロジェクトに取り組んだ生徒同士が実際にそれぞれの学校を訪問し、さらに交流を深める研修旅行も実施しています。



世界各国の多様な文化や価値観に触れることができるよう、海外の学生と交流する機会を多く設けています。

プラクティカルイングリッシュ



3年生まで全員に対してネイティブ教員による「プラクティカルイングリッシュ」の授業が週2時間あり、他の英語の授業で培った単語力や文法力などがアウトプットにつながるよう工夫されています。世界に学びをひろげるためのツールである実用的な英語力を鍛えます。

留学制度



異文化体験のファーストステップから、現地での本格的な学びを体験するものまで、内容や期間の異なる様々な留学制度を用意しています。海外の連携校を訪問して、交流を深める研修旅行も実施しています。

海外英語研修旅行	夏休み期間を利用した約2週間の研修。海外提携校での授業参加や、ホームステイなどを行います。毎年20名程度の生徒が参加しています。
中期留学	約3ヶ月間、オセアニア、カナダなどに留学。高等部に在籍しながら留学でき、毎年10名程度の生徒が参加しています。
長期留学	約1年間に及ぶ留学制度。高校を留年(休学)前提で行うもの、留年せずに行うものの2種類があります。毎年1～2名の生徒が参加しています。

< 海外提携校一覧 >
Brisbane Boys' College(オーストラリア) / Trinity Grammar School(オーストラリア) / Saint Kentigern College(ニュージーランド)
University School of Nashville(アメリカ) / Kingswood School(イギリス)

IOM (International Online Meeting — 海外の高校生との国際会議の実施 —)

他校も交えた有志生徒で構成された実行委員会が運営にあたり、インドネシア、フィリピン、インド、エジプトなどの高校生とともに、2020年度から3回にわたるオンライン国際会議を実施しています。毎回300人程の高校生たちが参加したこのイベントでは、「コロナとともに生きる私たち」、「各国にとっての平和、あなたにとっての平和」をテーマに語り合い、各国各校での探究的学びの成果を通して、SDGs実現のために自分たちができることを宣言として共有しました。英語でのプレゼンテーションやディスカッションはもちろん、テーマ設定からプログラムの企画や広報、そして実際の進行に携わった経験は、実行委員を大きく成長させました。





未来へとつなげる学び

一人ひとりが自分の興味関心を深める。
その過程で生まれた新たな問いを、さらなる
学びへとつなげていく。
様々な取り組みの中で気づき、ひろげた
興味関心を読書科の卒業論文によって、
まとめあげます。

主体的な探究を通じ、未来へとつながる学びの姿勢を身につける

▶ *Key Point* 未来を創造する学び

受験勉強に縛られることのない学びの機会は、教室の中にとどまらず、様々な場面で与えられています。身近に起こっている問題を自分ごととしてとらえ、学校外の人たちとのつながりを通じて、問題解決のための自分なりの答えを見つける。本校では新たな未来を創造する学びに挑戦し続けています。



<グローバル探究B> ピーススタディ (2、3年生選択授業)

「教室を出て社会に学ぶ」ことを通じて、「平和」や「人権」という大きなテーマに真正面から取り組みます。戦争やエネルギー問題などの具体的な社会的課題に対する自分なりの答えを探るべく、まずは身近なところに視点を持って探究を始めていきます。



<グローバル探究C> AI活用 (2、3年生選択授業)

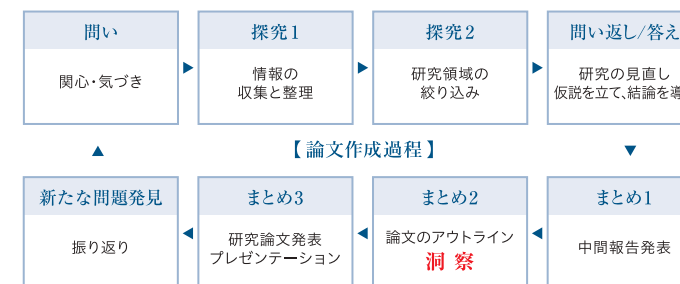
これからの社会でますますその重要性が増すAIについて学び、そのAIを活用して様々な社会課題を解決する方法を学ぶことを目的とした授業です。関西学院大学工学部の教授、学生による実習や、実際にAIを利用している企業への訪問などを通じて、AI活用の可能性について探究していきます。



読書科

本校で40年以上続く「読書科」の授業。探究テーマを生徒一人ひとりが自分の興味関心に応じて設定し、図書館の豊富な蔵書を用いながら探究していきます。そして3年次に学びの集大成として一つの論文にまとめ、発表します。論文作成の過程で生まれた新たな「問い」を更に探究することで、大学での学部選択につながっていきます。

1年生 本や文献の探し方、読み方を学ぶ
2年生 自分の興味関心を絞り込み、テーマを決める
3年生 具体的に文献調査をおこない、卒業論文を仕上げていく。



2021年度 卒業論文 テーマ例

「日本に繊細かつ優美な色彩表現があるのはなぜなのか」
「おいしい食べ物と安全性にはどのような関係があるのか」
「幼少期から複数の言語に触れることはどのような影響を及ぼすのか」
「日本とアメリカの学校教育における主体性の相違はなぜ生まれるのか」
「文豪たちの名作は今後どのような形で後世に残っていくのか」

「オードリー・ヘプバーンはなぜ自分らしい生涯を貫けたのか」
「宝塚歌劇団の男役はなぜ成立するのか」
「すぐに謝る日本と、謝らないアメリカ、中国、韓国では何が違うのか」
「アニメで登場人物の表情と背景の色はなぜパターン化するのか」
「なぜ人は恋をする必要があるのか」

▶ *Voice of the graduate* 受験にしばられない高大一貫教育だからこそ、深く学べる環境があります

私の卒論テーマ「海外と日本の映像作品の違いは何か」

英語研修旅行でオーストラリアを訪れ、現地のテレビ番組や映画と日本の映像作品との違いに興味を持ち、テーマに選びました。海外の映像作品は、その時の社会問題や政治、世の中の流行に左右されることが多いことを学び、映像を見るだけでなく、その背景には何かがあるのか、問題解決には何をすべきなのかということについて大学で学びたいと考えています。高等部では様々な国際交流の機会が用意されており、主体性や積極性を身に付けることができました。これからは、海外からの留学生支援、海外留学、高校生の国際交流サポートなど、大学生だからこそ経験できる場に積極的に参加し、学びを深めたいです。

1年	2年	3年
国内外の映像作品に関する文献を探し、主にアメリカやイギリスの作品について調べる。	フィリピンの高校生との交流をきっかけに、韓国やインドの作品など調査範囲を広げる。	日本と海外の映像作品を比較し、これからの日本の映像作品はどう制作すべきか、対象や目標を熟考し、まとめる。



2022年 卒業
黒田 京楓

自主性を育む学び

「自由と自治」の校風を受け継ぐ学友会。
文武両道を体現するクラブ活動。
仲間と共に汗を流した経験も協働によって
生まれた絆は人としての成長を促す糧と
なります。

学友会（生徒会）

高等部の生徒全員が加入する自治組織。自分たちの学校生活を自らで運営する、本校の「自由と自治」の精神を最も端的に表す存在です。9つの委員会で構成され、学内行事の企画・運営ほか、学校生活に関わるあらゆる問題についての議論・議決を司ります。本校特有の、生徒の強い愛校心を育む一端ともなっています。

2022年度学友会スローガン

「生徒の生徒による生徒のための学友会」

生徒が安らぎと調和のうち夢と希望をもって学校生活が送れるようにサポートするのが学友会の使命であり役割です。
従って常に生徒の意見や考えや思いを受け入れる機関として学友会の存在があるのです。そのような意味をこめてこのスローガンにしました。

学友会会長 3年生 松下 あお



Interviews

中学の時、テレビで見た選手権兵庫県大会の決勝。
自分自身もそこに立ちたいと思い入学を決めました。

高いレベルの部活動が多く、部活間でも仲が良く、いい意味でお互いを刺激し合える関係性にあると思います。また受験勉強にとらわれずに部活動が行えるので、自分自身の目標やチームの目標に向かって最後まで本気で取り組むことができるのも高等部の良いところだと思います。夏のインターハイ兵庫県予選で優勝した際は、サッカーを続けてきて本当に良かったと感じました。得点が入った時や試合終了の笛が鳴った時の興奮は、自分にとって忘れられないものになりました。

サッカー部 主将 3年生 富江 航世

どのステージも、演奏する楽曲から衣装、演出まで
すべて生徒主体で作ります。

定期演奏会だけではなく、毎週行われるアッセンブリーや文化祭、クリスマス祝会など、1年を通してたくさんの演奏の機会があります。また、生徒が自発的に取り組んでみたい練習メニューなどを提案し、実現できる環境で活動ができていると感じています。日々演奏の機会をいただくたびにやりがいを感じていますが、今年の入学式はコロナ禍で久々にいただいた人前での演奏機会だったこともあり、入学する1年生のために演奏できたことや演奏を聴いていただけるありがたさを改めて実感しました。

吹奏楽部 部長 3年生 中川 恵里





Club Activities

Arts, Science & Religion
— クラブ活動 文化部 —

クラブ活動を通して目指すのは、「人」としての成長



文化系クラブ一覧

〔学友会直属〕・サーブリーダーズ(チアリーダー)

〔宗教総部〕・宗教部

〔文化総部〕

・E.S.S. ・吹奏楽部 ・図書部
・映画部 ・数理科学部 ・美術部
・社会部(クイズ班・茶道班) ・グリークラブ ・理科部
・写真部 ・コンピュータ部

2021年度活動実績

【宗教部】

聖書動画コンテスト ファンタジー 作品賞

【E.S.S.】

神戸日米協会 英語暗誦大会 JASK CUP 特別賞(県3位)

【グリークラブ】

兵庫県合唱コンクール 銀賞

【吹奏楽部】

兵庫県吹奏楽コンクール 銀賞

【美術部】

兵庫県私学連合美術展 優秀賞

【理科部】

兵庫県総合文化祭自然科学部門発表会口頭発表生物分野 最優秀賞
全国総合文化祭出場決定



Club Activities

Sports
— クラブ活動 運動部 —

「文武両道」を体现し、共に汗を流した仲間は生涯の宝物



クラブ活動を通じた国際交流



一部のクラブでは、海外提携校などを訪問する海外遠征を行っています。試合だけでなく現地コーチの指導を受けたり、部員の家にホームステイをしたりすることで、語学研修とは異なる経験も得ることができます。

運動系クラブ一覧

- ・アメリカンフットボール部(男)
- ・剣道部(男・女)
- ・サッカー部(男)
- ・柔道部(男・女)
- ・水泳部(男・女)
- ・卓球部(男・女)
- ・ダンス部(男・女)
- ・テニス部(男・女)
- ・バスケットボール部(男・女)
- ・バレーボール部(男・女)
- ・野球部(男)
- ・ラグビー部(男)
- ・陸上競技部(男・女)
- ・ゴルフ(個人登録のみ)

2021年度活動実績 兵庫県総体学校対抗順位 男子の部3位

【アメリカンフットボール部】兵庫県高校春季大会 準優勝／兵庫県高校秋季大会 準優勝／全国大会 ベスト4 【剣道部】(男子・女子)兵庫県高校総体、新入大会 団体戦5位 【サッカー部】兵庫県高校総体 優勝／インターハイ 出場／兵庫県高校選手権大会 5位 【水泳部】インターハイ 個人出場／兵庫県高校総体 男子総合6位 女子総合5位 【ダンス部】ダンススタジオ全国決勝大会 出場／DANCE CLUB CHAMPIONSHIP全国高校ダンス部選手権 出場／全日本高等学校チームダンス選手権全国決勝大会 準優勝 【テニス部】(男子)関西ジュニア シングルスダブルス出場／近畿大会、近畿新入大会 シングルス出場／兵庫県総体 団体戦5位／兵庫県新入大会 団体戦4位／兵庫県夏季ジュニア ダブルス3位／兵庫県春季ジュニア シングルス3位 ダブルス準優勝 【バスケットボール部】(男子)全国選手権大会 兵庫県予選5位／兵庫県新入大会 Aブロック優勝 【野球部】全国高校野球兵庫県大会 準優勝 【ラグビー部】近畿大会 出場／兵庫県民体育大会 準優勝／兵庫県高校総体 準優勝／兵庫県高校新人戦 ブロック優勝 【陸上競技部】兵庫県高校総体 個人6位／兵庫県高校駅伝大会 出場

Graduates

— 卒業生 —

高等部での経験は大きな財産となり未来の自分を支える

「自由と自治」こそが、関西学院高等部らしさ。

人生は「出会い」。すべては「出会い」から始まる。



柔和で多様性と個性を重んじる「自由と自治」の校風。例えば、高等部にはアッセンブリーという全校集会があり、部活動や個人活動の表彰、全校生徒への連絡のほか、生徒が全校生徒に対し自らの意思を表明する場としても機能しています。特徴的なのは全校生から選任された生徒代表である学友会役員が議事進行を行い、先生方が原則口出しされないこと。青年期へと移行しつつあるまだまだ未熟な高校生に全てを任すのは先生方として内心はひやひやされると思いますが、そんな懐の深さこそ高等部が掲げる「自由と自治」の本質であり、「高等部らしさ」だと感じます。学友会活動を通じて得た学びは、自らの「生き方」の土台を形成してくれていると思います。現在、都市計画家として多様なふれるコミュニティづくり、まちづくりに取り組んでいますが、多感だった高等部時代に得た学びこそ、他者との関わり方や働き方の基層を成していると感じています。

KUROFUNE Design Holdings 株式会社
取締役（米国公認都市計画家）
井上 貴文さん 2009年卒業



高等部でのアメフトの経験や出会いが、今の仕事にも活かしています。3年の時に出現したライバル校、春の定期戦（我々は関西選手権で優勝、相手チームも関東選手権で優勝したチームなので事実上の春の日本一決定戦）で6-6の引き分け、冬の全国大会でも21-21の引き分けで決着がつきませんでした。そんなことがあったからこそ、この歳になっても彼らと深い付き合いをさせてもらっています。一生の友人でありながら、同じジャンルの仕事で協業することもあります。こんな素晴らしい経験は他ではできません。そして、高等部での学びの原点は「人間力」です。その「人間力」を養うためには、「コミュニケーション能力」が重要だと教えられました。クラブ活動の仲間はもちろん、クラスをまたいだ交流を楽しんでいたように思います。そして、今も日々新たな出会いを楽しんでいます。皆さんも高等部でいい出会いがあることを祈ります。

毎日放送グループ MG スポーツ株式会社
代表取締役社長
長谷川 昌男さん 1984年卒業

謙虚さと感謝の気持ちを忘れずに。

「おもしろいな。やってみよか。何とかなる！」これが関学イズム。

高等部のバレーボール部での経験が今の自分に活きていると感じます。顧問の先生の勧めでビーチバレーボールにも出会い、周囲の人のサポートもあり、インドアの練習と並行してビーチバレーも必死に練習した結果、近畿大会で3位になることができました。部活動での経験を通して、謙虚さと感謝の気持ちを忘れずに前向きに努力すれば、必ず報われるのだと自信ができました。それだけでなく、全力で努力することによって周りからのサポートを得られ、その努力の結果を自分だけでなく応援してくださる皆さんと一緒に喜ぶことができました。現在の仕事は、まだまだ慣れないことばかりですが、素直にさまざまなことを吸収し、お客さまに安全と最高のサービスを提供すべく、日々努力しています。お客さまはもちろんですが、ともに働く仲間の笑顔のために、いつもポジティブに仕事に取り組んでいます。

日本航空株式会社
運航乗務員訓練生（現在は、JAL スカイ九州出向中）
片山 理咲子さん 2018年卒業



授業では、大学で展開しているような多くの選択科目がありました。例えば、多様な言語、芸術、ある時代に特化した歴史などがあったと思います。これらの授業では大学の先生や学生が教科書にないことを教えてくれました。中でも化学の授業では大学生や大学院生と一緒に実験し、サイエンスの匂いを直に感じたことで学問に興味を持つようになり、今の研究活動に繋がっています。他にはない機会があったからこそ、様々な才能が芽生え、また大きな大志を抱く人がたくさんいました。医師の道に進んだ私は今、同級生たちが手掛ける新しい医療機器の開発研究に協力し、臨床データを論文発表しています。違う道に進んだ同級生たちと新事業を展開しているなんて、高等部での出会い、絆は一生の宝物だと感じています。そして、私達に共通している思いは関学イズムです。

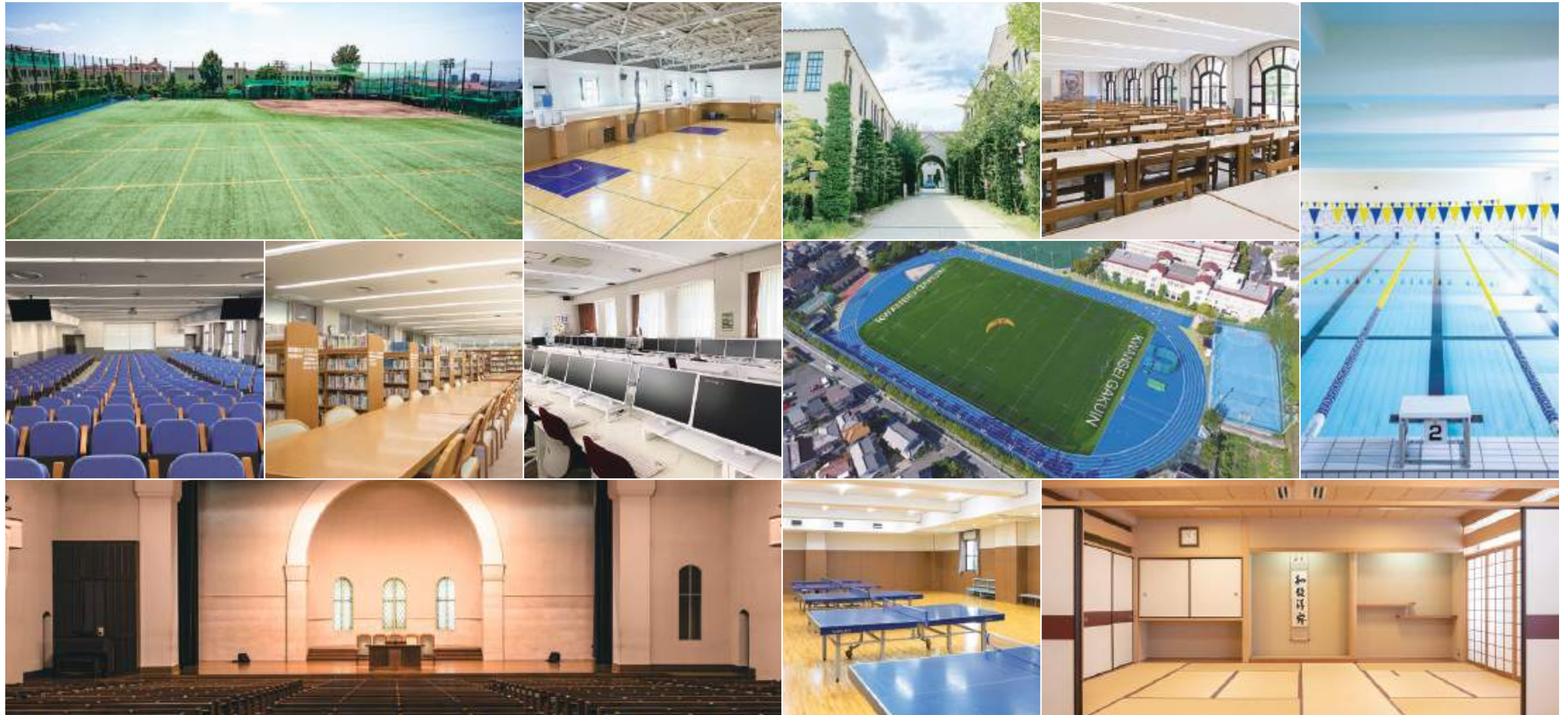
神戸大学大学院医学研究科外科系講座 災害・救急医学分野 / 神戸大学医学部附属病院 救命救急センター
教授 / センター長
小谷 穰治さん 1979年卒業



Facilities

— 施設・ICT —

広大な自然の緑と調和した施設で、先進的かつ主体的な学びを得る



ICT for Education

学びの基盤としてのICT環境設備

生徒全員がiPadを持ち、授業や連絡事項、学校行事など学校生活全般で活用しています。授業ではiPadを用いて生徒の意見を一斉に共有し、グループで意見をまとめる時はホワイトボードに書くなど、ICTとアナログを効果的に組み合わせた学びを展開しています。本校ではICT教育でも生徒の自主性を尊重し、使用するアプリに規定を設けず、教員と生徒代表のICT委員と一緒にルールメイキングしたうえで、生徒自身がより良いICTの活用法を探っていきます。高等部では、より学びを深めるため情報モラルを含め、生徒と共にICTの利用方法について考え続けています。



ICTの効果的な活用で学びへの興味やそこから生まれる疑問について今まで以上に探究したり、協働によるコミュニケーション能力を高めることが可能となり、本校伝統の「主体的な学び」をさらに加速させています。自由に使えるからこそ、自らを律する必要があることを再認識する機会にもなっています。



School Life

— 学校生活 —

年間を通し、生徒主体の行事で仲間との絆を深める



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間行事	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生オリエンテーション ・入学式 ・クラブ紹介 ・実力テスト ・子ども会 ・バイブルキャンプ 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断 ・宗教週間の特別礼拝 ・春季宗教運動 ・中間試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・県高校総体 ・学友会総会 ・学年行事（1,2年） ・進路学習（3年） ・遠足（3年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 ・映画鑑賞会 ・避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外英語研修旅行 ・クラブ合宿 	<ul style="list-style-type: none"> ・創立記念礼拝 ・宗教週間の特別礼拝（秋季宗教運動） ・中間試験 ・キリスト教音楽コンサート ・KGスポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭 ・芸術鑑賞会 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験 ・クリスマス礼拝 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路学習（2年） ・入学試験 ・卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年末試験 ・北海道スキー旅行（2年） ・進路学習（1年） 		

※2022年度の行事予定です。



School Uniform 制服



夏服

冬服

スラックス

※選択できます



ネクタイ・リボン・エンブレム



関西学院高等部
オリジナルレッスンバッグ

Daily Schedule 1日のスケジュール

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:10～ 8:20			早朝祈禱会 (自由参加)			
8:30～ 9:15	1時間目	授業				
9:25～10:10	2時間目	授業				
10:20～10:45	チャペル アワー	全校礼拝	アッセンブリー (生徒集会)	学年礼拝 人権講座	学年礼拝 人権講座	学年礼拝 人権講座
10:55～11:40	3時間目		ホーム・ルーム	授業		
11:50～12:35	4時間目	授業				
		昼休み				
13:20～14:05	5時間目	授業				
14:15～15:00	6時間目	授業				
15:10～15:55	7時間目	授業(月曜日のみ)				

※平日の下校時刻は原則19時。ただし、大会前等重要な時期には延長を認めています。
※土曜日は授業を行いません。

高等部での学びを活かすため、 多くの生徒が関西学院大学へ進学

関西学院大学での学びに向けて

高校時代に最も大切なことの一つは、自分自身の将来や進路に向けて「自覚」を持つということです。勉強も、クラブ活動も、そこにはいろいろな「出会い」や「経験」があります。そして、その中で自分自身を見つめることが、未来に向かうための自信となり、エネルギーになるのです。大学進学だけを目標とするのではなく、生徒一人ひとりが、その先の将来への目的意識を持ちながら、勉学はもちろん何事にも積極的に取り組めるように、自ら「学ぶ力」、人生を「生きる力」につながる進路指導を行っています。

≫ 進学について（過去3年の進学状況）

	神学部	文学部	社会学部	法学部	経済学部	商学部	人間福祉学部	国際学部	教育学部	総合政策学部	理学部	工学部	生命環境学部	建築学部	理工学部	他の大学
2020年度	1	25	50	44	70	75	18	24	9	21	—	—	—	—	16	18
2021年度	0	28	50	20	70	75	25	25	15	17	2	12	4	6	—	14
2022年度	0	28	50	46	65	75	21	25	16	10	2	13	4	7	—	14

関西学院大学推薦のための条件

1.高校卒業条件を満たすこと

2.総点平均60点以上であること
(3年間および3年次の成績の総点平均が60点以上であること)

3.外部英語テストの成績が基準点に達していること

4.読書科の単位を取得し、卒業論文を提出すること

5.聖書科の単位を取得すること

6.自己推薦書を提出すること

7.推薦に値する生活態度であること

※一貫教育の理念を尊重するため、関西学院大学への推薦権を残したまま他大学を受験することはできません。

他大学合格者リスト
(2022年度実績)

京都大学

上智大学

神戸大学

慶應義塾大学

兵庫医科大学

早稲田大学

国際基督教大学

明治大学

≫ 奨学金制度

関西学院高等部では、希望をもって学業に励み、将来、社会に貢献する人材として大きく成長することを願って、経済的に困難を抱えている生徒に対する奨学金制度を実施しています。奨学金には支給（返還義務のないもの）と貸与（返還義務のあるもの）とがあり、金額もそれぞれ異なります。この他に、次年度に大学進学を希望している生徒のために、進学前に大学入学後の日本学生支援機構奨学金の支給や貸与を予約しておくこともできます。関西学院大学では、入学時の学費援助のため入学時貸与奨学金が設けられています。

種 類	金 額
関西学院高中支給奨学金 [※]	授業料（年額）から各種補助金等（*1）（年額）を差し引いた額の2分の1
関西学院高中貸与奨学金 [※]	学費（年額）から各種補助金等（*1）（年額）を差し引いた額の2分の1 又は 3分の1 又は 4分の1
各都道府県高等学校奨学資金	月額30,000円（兵庫県 自宅通学の場合）
地方自治体などによる奨学金	教育委員会等へ各自で問い合わせること
その他	各種 公益財団法人の奨学金 等

※各府県の各種補助金を受けても教育費の負担が困難な生徒を対象に、関西学院独自の奨学金制度を設け、修学が継続できるようにしています。
（*1）各種補助金等：高等学校等就学支援金制度、生徒授業料軽減補助制度（保護者が兵庫県在住）

≫ 授業料軽減等補助制度

私立高校生学の学費負担者に対する、府県の授業料軽減等補助制度があります。2022年度実績は次の通りです。

兵庫県	年12,000円～100,000円 所得により異なる	所得制限あり
奈良県	令和4年は実施なし	
京都府	年6,000円～25,000円 所得により異なる	所得制限あり
大阪府	令和4年は実施なし	

≫ 高等学校等就学支援金制度

就学支援金は全ての高校生を対象に、国の費用により授業料に充てるため生徒に支給されるものです。2022年度実績は次の通りです。

月額9,900円 年額118,800円 （所得制限あり・所得により加算支給あり）

KWANSEI GAKUIN University — 関西学院大学 —

関西学院大学学部紹介

神学部	聖書学や宗教哲学など「学問」としての神学を学びながら、広くキリスト教文化に熟達することを目指します。卒業後は伝道者、聖書科教員、非営利法人職員のほか、一般企業で活躍する人も。 ■キリスト教伝道者コース ■キリスト教思想・文化コース
文学部	文化・歴史・心理・文学や言語を研究し、それらが現代社会でどのような意義を持つのか、「人間とは何か」の本質に迫ります。広い視点・知見を育てるべく、複数のゼミを履修可能なも特長。 ■文化歴史学科 ■総合心理科学科 ■文学言語学科
社会学部	個人と個人、家族、地域あるいは国家。人間はそうした集団に属して生きる社会性動物です。その集団における互いの関係性やそこから生じる事象を研究し、よりよい社会の実現を目指します。 ■社会学科
法学部	官僚法学や法解釈学ではなく、社会の実態に即した法学研究「ソーシャル・アプローチ」が理念。法曹界や書士、企業法務職だけでなく、その知識を活かして金融やマスコミの世界に進む人も多数。 ■法律学科 ■政治学科
経済学部	1934年開設。経済学部としては国内最長の歴史と3,000名程の学生を有する伝統学部。社会を構成する人とモノ・お金の流れ（＝経済）を倫理・歴史・政策的な側面から検証し、課題解決に繋がります。
商学部	1912年開設。次世代をけん引する「真に創造的な能力を有するビジネスパーソン」の育成に向けて、課題解決型学習（PBL）やオンライン留学（VE/COIL）といった最新の学修機会を活用し、6つの専門コースで理論と実践を同時に学びます。 ■経営コース ■会計コース ■マーケティングコース ■ファイナンスコース ■ビジネス情報コース ■国際ビジネスコース
人間福祉学部	「福祉」「社会起業」「こころと体」の分野をフィールドに、現代社会が抱える様々な問題解決の力を養成。学科を横断した学際的な学びや、実社会で実践的に学ぶ機会が多いことも特長です。 ■社会福祉学科 ■社会起業学科 ■人間科学科
国際学部	語学力の習熟はもとより、多様性を理解し共生できる「世界市民」を目指して、「文化・言語」「社会・ガバナンス」「経済・経営」を軸に世界を学びます。留学制度も豊富です。 ■国際学科
教育学部	「子ども理解」を軸とし、実践力・教育力・人間力を兼ね備えた教育者を育成。単に教員免許資格取得を目指すだけでなく、教育とは何かを問いつつ、あらゆる教育問題に取り組む意思を養います。 ■教育学科（幼児教育学コース・初等教育学コース・教育科学コース）
総合政策学部	自然環境、貧困、平和と人権、国家・民族間の対立……世界はあらゆる問題であふれています。これらを具体的に解決する方法を「政策」として立案し、実行できる人材育成を目指します。 ■総合政策学科 ■メディア情報学科 ■都市政策学科 ■国際政策学科
理学部	自然と自然界をつかさどる科学の法則を理解し、新たな真理を探究することで、柔軟かつ理論的な思考力と課題解決に挑む力を身につけます。 ■数理科学科 ■物理・宇宙学科 ■化学科
工学部	ナノテクノロジー・パワーエレクトロニクスと情報通信・AI技術により、人を中心にした持続可能な社会の構築に貢献します。少人数教育により、教員との距離が近い学びを実現します。 ■物質工学課程 ■電気電子応用工学課程 ■情報工学課程 ■知能・機械工学課程
生命環境学部	環境・食糧・健康など、現代社会の課題解決に挑む力を養います。実験科学とデータサイエンスを駆使した先進的な教育研究の拠点を構築します。 ■生物科学科 ■生命医科学科 ■環境応用化学科
建築学部	建築学から現代社会における課題の解決に貢献します。建築・都市を中心とした幅広い知識・技術・デザイン能力が身につきます。 ■建築学科

Admission

— 2023年度入学試験要項 —

A方式（一般入学試験）

出願資格

以下の1.から2.いずれかに該当する者。
1.2023年3月31日までに中学校またはこれに準ずる学校を卒業見込みの者。
2.2022年6月から2023年6月の間に、外国の学校教育における9学年の課程を修了した者（ただし、すでに日本の高等学校に転編入学した者は受験できません。）
あるいは修了見込みの者。（ただし、合格し、入学を希望する場合は2023年4月に本校に入学することとします。）
※専願受験者には、入学試験時の試験点数に30点程度加点します。

出願期間

2023年1月6日（金）～1月23日（月）／1月23日（月）必着
※書留での出願に限ります。

入学検定料 納入期間

2023年1月6日（金）～1月23日（月）※銀行振込に限ります。（ATM不可）

出願書類

- 入学試験願書
- 志望理由および中学校での活動報告書
- 調査書（学校長が証明し厳封したもの）

試験日・時間割

試験日	科目	時間	配点
2月10日（金）	国語	8:50～9:50(60分)	100
	数学	10:10～11:10(60分)	100
	英語	11:35～12:45(70分)	120
	昼食	12:45～13:30(45分)	-
	面接	13:40～	-

※英語はリスニング約10分を含む。
※面接は受験生のみ。

合格者発表

2023年2月13日（月）午前10:00～
関西学院高等部ホームページ上に発表（URL: <https://www.kwansei.ac.jp/hs/>）
※書類は午前郵送（速達）

新型コロナウイルス感染症の拡大等により記載内容が変更になる可能性があります。
変更がある場合、本校ホームページでお知らせします。

海外帰国生徒入学試験

出願資格

以下の1.から4.すべてに該当する者。
1.日本国籍を有する者、あるいは日本に永住する外国人（在留資格が出入国管理および難民認定法に定める「永住者」）。
2.本校を専願とする者。
3.海外に在住している者、または在住していた者で、次のいずれかに該当する者。
①保護者とともに継続して海外在住3年以上で、2022年3月1日以降に帰国の者。
②保護者とともに継続して海外在住2年以上で、2022年7月1日以降に帰国の者。
4.2008年4月1日以前に生まれた者で、次のいずれかに該当する者。
①2022年6月から2023年6月の間に、外国の学校教育における9学年の課程を修了した者（ただし、すでに日本の高等学校に転編入学した者は受験できません。）
あるいは修了見込みの者。（ただし、合格した場合は2023年4月に本校に入学することとします。）
②文部科学大臣の指定を受けた海外の全日制日本人学校中等部を2023年3月31日までに卒業見込みの者。
③帰国後、国内の中学校を2023年3月31日までに卒業見込みの者。

※2年以上、3年以上の海外在住とは、出国日から帰国日までの期間とします。
試験日にまだ海外在住の場合は、2023年3月31日を基準として計算します。
※出願資格について、不明な点があれば直接問い合わせてください。

出願期間

2023年1月6日（金）～1月23日（月）／1月23日（月）必着
※書留での出願に限ります。

入学検定料 納入期間

2023年1月6日（金）～1月23日（月）※銀行振込に限ります。（ATM不可）

出願書類

- 入学試験願書
- 海外在留証明書（企業等が発行したもの）
- 志望理由および中学校での活動報告書
- 志願者調査票（志願者本人が記入したもの）
- 海外在学中の成績証明書（帰国後日本の中学に在籍する者は両方の成績証明書を提出）

試験日・時間割

試験日	科目	時間	配点
2月10日（金）	国語	8:50～9:50(60分)	100
	数学	10:10～11:10(60分)	100
	英語	11:35～12:45(70分)	120
	昼食	12:45～13:30(45分)	-
	面接	13:40～	-

※英語はリスニング約10分を含む。
※面接は保護者同伴とする。

合格者発表

2023年2月13日（月）午前10:00～
関西学院高等部ホームページ上に発表（URL: <https://www.kwansei.ac.jp/hs/>）
※書類は午前郵送（速達）

募集人員	普通科第1学年 A方式（一般入学試験） 男女約100名 （海外帰国生徒若干名を含む） B方式（自己推薦入学試験） 男女約20名	入学検定料	20,000円（A方式・海外帰国生徒） 20,000円（B方式） ※A方式、B方式との併願はできます。 ※A・B両方式に出願された方で、A方式合格者には後日、B方式検定料を返還します。
試験会場	本校		

B方式（自己推薦入学試験）

出願資格

以下の1.から3.すべてに該当する者。
1.2023年3月31日までに中学校卒業見込みの者。
2.本校を専願とする者。
3.中学校時代の成績について、以下の基準のいずれかを満たしている者。
（5段階評定の場合）
中学第3学年2学期末の3年次総合成績において、9教科5段階評定の合計が36以上の者。
（10段階評定の場合）
中学第3学年2学期末の3年次総合成績において、9教科10段階評定の合計が68以上の者。
●次の①・②の項目は、判定に際し評価をする内容です。
①生徒会活動やボランティア活動等、学校や地域で諸活動をおこない、学業との両立に積極的に取り組んだ者。
②文化・芸術・スポーツなど自ら興味の対象を持ち、それに打ち込み、学業との両立に積極的に取り組んだ者。
（各種コンクール、展覧会、発表会、スポーツの大会、資格試験などの実績を証明する書類がある場合はそのコピーを添付してください。）
※高校を併設している私立中学校および海外の諸学校からの受験はできません。また、海外の高等学校からの転編入学はできません。
※海外帰国生徒入学試験に出願した場合は、B方式（自己推薦入学試験）への出願はできません。

出願書類の配布

出願に一定の資格が必要ですので、その確認の意味もあり、所属中学校の先生を通じて「入学試験願書等出願書類送付願」を本校に郵送、またはご持参ください。こちらから中学校にB方式の出願書類をお渡しいたします。
【郵送の場合】2022年12月23日（金）午前着までは、年内に出願書類を送付します。
（12月23日（金）午後以降着の場合は、2023年1月6日（金）以降の郵送）
【持参の場合】次の時間内にご持参ください。即日出願書類をお渡しいたします。
平日 8:30～11:30 12:30～16:30
土曜日 8:30～12:00
（2022年12月24日（土）正午～2023年1月5日（木）まで閉室）

出願期間

2023年1月6日（金）～1月23日（月）／1月23日（月）必着
※書留での出願に限ります。

入学検定料 納入期間

2023年1月6日（金）～1月23日（月）※銀行振込に限ります。（ATM不可）
※A・B両方式に出願されている方で、A方式合格者には後日、B方式の入学検定料を返金いたします。

出願書類

出願資格の確認後、下記の出願書類をお渡しします。
1.入学試験願書
2.志望理由および中学校での活動報告書
3.調査書（A方式入試を併願している場合は不要です）
4.自己推薦書
5.活動記録報告書に関する資料のコピー（縮小コピー可）を貼付した用紙

試験日・時間割

試験日	科目	時間
2月17日（金）	作文	10:40～11:30(50分)
	昼食	11:30～12:30(60分)
	面接	12:40～

※面接は受験生のみ。

合格者発表

2023年2月18日（土）午前10:00～
関西学院高等部ホームページ上に発表（URL: <https://www.kwansei.ac.jp/hs/>）

入学生の学費・その他の諸費

初年度納入金（2022年度入学生）

（単位：円）	
入学手続Ⅰ （入学申込金または入学金）	200,000
入学手続Ⅱ （学費・その他の諸費※）	460,100
初年度2学期納入金 （納入期限9月29日）	342,500
初年度3学期納入金 （納入期限12月22日）	341,500
初年度納入金合計	1,344,100 （※その他の諸費260,100円を含みます。）

※iPad®関連費用を含む。

3年間の学費（2022年度入学生）

（単位：円）			
	第1学年	第2学年	第3学年
入学金	200,000	—	—
授業料	635,000	635,000	635,000
教育充実費	249,000	249,000	249,000
学費合計*	1,084,000	884,000	884,000

※上記学費に加え、その他の諸費を毎年納入いただきます。

納入方法
入学金：1回で全納 入学金以外は年間3回に分けて納入
納入期限
【入学申込金（入学手続Ⅰ）】 A方式〔専願〕・海外帰国生徒／2月20日（月）まで A方式〔併願〕／3月20日（月）まで B方式／2月27日（月）まで ※銀行振込に限る （ゆうちょ銀行・郵便局・ATM・インターネットバンキング不可） 【学費及びその他の諸費1期分（入学手続Ⅱ）】 A方式〔専願〕／3月9日（木）まで A方式〔併願〕／3月20日（月）まで B方式・海外帰国生徒／3月9日（木）まで ※銀行振込に限る （ゆうちょ銀行・郵便局・ATM・インターネットバンキング不可）

Information

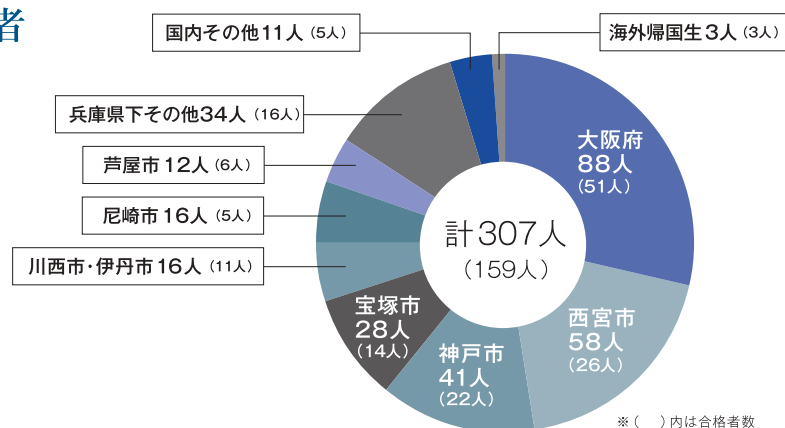
— 入試情報 —

入試DATA

入 試 状 況												
	2021 年度						2022 年度					
	A 方式（一般入試）		海外帰国生徒入試		B 方式（自己推薦入試）		A 方式（一般入試）		海外帰国生徒入試		B 方式（自己推薦入試）	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
募集人数	約 100 名		若干名		約 20 名		約 100 名		若干名		約 20 名	
志願者数	118	75	2	0	19	25	132	98	2	1	35	39
受験者数	118	75	2	0	19	25	132	97	2	1	32	37
合格者数	83	42	1	0	19	16	79	41	2	1	21	15
競争率	1.4	1.8	2.0	—	1.0	1.6	1.7	2.4	1.0	1.0	1.5	2.5
入学者数	81	42	1	0	19	16	78	41	2	1	21	15

地域別志願者

（2022年度）



Q & A

Q1 男女比はどうなっていますか？

A1 男女比は、概ね5：3で構成しています。入試もこれを前提としており、募集定員はA・B両入試方式をあわせて男子75名、女子45名程度としています。

Q2 A方式入試においては、調査書（内申書）はどの程度影響するのですか？ また調査書の内容は何を見るのですか？

A2 本校のA方式入試では、当日実施する3教科の試験成績を軸にしつつも、中学校での学校生活全般への取り組みの姿勢がわかる調査書の内容も加えて、総合的に合否判定をしています。9教科の成績、特別活動（生徒会活動、クラブ活動）など、調査書に記載された項目をくまなく見て、中学校生活にどのように取り組まれたかを総合的に確認させていただきます。

Q3 A方式入試とB方式入試の違いはどこですか？

A3 A方式入試は入試当日の試験成績を評価の軸としつつ調査書と面接の内容も加えて総合的に合否判定をします。それに対し、B方式入試では学力試験がありませんので、調査書の成績評定を学力評価に代え、その他の調査書の内容、当日の作文や面接の評価を加えて合否判定をしています。A方式入試は当日の学力試験重視、B方式入試は中学校での3年間の成績・業績重視といえます。

Q4 A方式入試で専願、併願の有利不利はありますか？

A4 専願受験生には、国語・数学・英語の合計点に30点程度の加点をおこない合否を判定します。従って、専願が有利となる受験となります。なお、B方式入試には出願資格を専願に限らせて頂いております。
※専願とは、合格した場合、必ず本校に入学することを意味します。

Q5 A方式入試とB方式入試の併願はできますか？

A5 A方式入試とB方式入試の併願は可能ですが、出願は同時期になっていますので、あらかじめA方式入試とB方式入試の両方に出願していただく必要があります。A方式入試で合格された場合は、B方式入試の受験は必要ありませんので、B方式入試の受験料は返還致します。A方式入試とB方式入試は完全に切り離して行います。A方式入試の結果はB方式入試にはまったく関係しません。

Q6 面接の内容について教えてください。

A6 A方式入試・B方式入試共に個人面接で、A方式入試は教員2名、B方式入試は教員3名で行われます。主な質問内容は、志望理由や中学校生活での学び、高校生活への意気込みなどについてですが、A方式入試が5分間程度であるのに対し、B方式入試は、15分間程度で当日の作文の内容も参考にしながらの面接となりますので、より深い内容についてお聞きすることになります。

Messages

— メッセージ —

「輝く自由」に出会う

「輝く自由」、関西学院校歌『空の翼』の一節です。関西学院高等部には「輝く自由」があります。あらゆる垣根を越え、何ものにも縛られることのない自由ほど素晴らしいものはありません。その自由の中でこそ、自分自身を鍛えることができます。そして、その自分自身からも自由になって、そこで得た力を他者の幸福に用いるとき、皆さん自身が輝くでしょう。「輝く自由」、ぜひ関西学院高等部で出会ってください。

関西学院 院長 中道 基夫



キリスト教を通して、他者に、世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心や真摯な態度を備えた人格を培うことを目標として、「自由と自治」を重んじて歩んできた高等部。
人生において最も多感な時期に、関西学院大学への推薦制度に支えられて、自分の可能性をどこまでも追求できるのが本校の魅力です。自分の興味関心に合わせた様々なチャレンジができる環境がここにはあります。建学の精神“Mastery for Service（奉仕のための練達）”を実践する「世界市民」になることをこの関西学院高等部で共に目指しましょう。

関西学院 高等部長 枝川 豊

